

## 【五戸町教育委員会】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

AIやビッグデータ等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられたSociety5.0時代が到来しつつあります。世の中全体のデジタル化、オンライン化が大きく進展しているなか、これからの学校は、ICTを最大限活用することで「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていくことが求められています。

一斉学習・個別学習・協働学習のそれぞれの学習場面や学習プロセスにおいてICTを効果的に活用することは、こどもたちが様々な課題に関心を持って主体的・対話的に学ぶことにつながります。

モバイル性が高く、使い勝手の良い1人1台端末、クラウドサービスの活用を前提とした通信ネットワークなどのICT環境を整備し、学びの道具としてICTを活用することにより、一人一人が自由に情報を収集でき、得た情報を学習に活かせる教育環境を目指します。

#### 2. GIGA第1期の総括

当町は、コロナ禍以前からコンピューター教室や指導者用デジタル教科書などICT環境の整備・充実に積極的に取り組んできました。

令和2年度には、国のGIGAスクール構想を踏まえ、1人1台端末を整備し、学校現場では教科や学習場面に応じて、情報の収集・理解・整理・発信・共有のツールとして端末を活用しています。

端末を使って児童生徒が自分の考えをまとめ、クラスメートとリアルタイムで考えを共有したり授業支援ソフトを利用したりするなど、デジタルコンテンツを活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進してきました。

これらの取組の結果、当町では、授業でタブレットなどのICT機器の使用率が年々上がってきており、ICTが児童生徒にも「学びの道具」として浸透しつつあります。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA第1期では、1人1台端末を「学びの道具」として活用してきた結果、授業及び学習等の学びの時間に使用されることが増えてきています。

そのような中、当町の1人1台端末は故障率が低く推移していますが、経年劣化によるバッテリーの膨張が顕著になってきており耐用年数が近づくにつれ不具合が増えつつあります。児童生徒の学びを止めないためにも、1人1台端末の着実かつ円滑な更新を進めます。

今後は、より一層1人1台端末の積極的な活用を目指し、各校の教員のICT研修によるICT活用指導力の向上に努めるとともに、児童生徒のICTの活用を積極的に促す学びの環境整備をしていきます。

さらに、文部科学省の「児童生徒の自殺予防に係る取り組みについて（通知）」及び「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」に記載されており、1人1台端末を活用し、心や体調の変化を早期発見する取組が広がりつつあります。

当町においても、こうした動向を踏まえ、GIGA第2期では、日常の授業で端末をより効果的に活用することはもちろんのこと、不登校や特別支援、言語難民など、様々な困難を抱える児童生徒に対する支援として、多様な場面でICTを活用していきます。